神木山報
shibokusanpou
一隅を照らそう
9月号
３０８号
毎月28日発行
E-mail:info@tougakuin.jp

謎の「聖徳太子像」

住職　中島　有淳

数年前、〃江戸時代の中頃に、等覚院の聖徳太子像が、越中八尾（富山県）の聞名寺に御遷座された〃という記事が見つかり、大変驚きました。

歴史好きの家人は、三年前、聞名寺を訪ね、その聖徳太子の御尊像を拝してきました。【「神木山報NO.271」（平成28年8月号）に詳報】今月はその続報です。

幻の聖徳太子を追って（二）

寺婦　中島　磯乃

先日、再び富山県八尾町の聞名寺を訪ねて参りました。目的は、年に一度、八月六日～八日に行われるという聖徳太子奉讃の「太子伝会」への参拝。もう一つは、当山の聖徳太子について知り得るきっかけとなった『八尾史談』という本を、図書館で自分の目で確かめる事でした。

八尾町の図書館ではとても親切にして下さり、『八尾史談』のコピーをして頂きました。　その本には

聖徳太子の尊像は、武蔵国稲毛領長尾等覚院に、御鎮座ましましたのを、（略）聞名寺へ御遷座ましましたのである。明治三年合寺（注・社寺統廃合）の間、東町大坪屋彦左衛門土蔵内に仮安置し奉ってあったのである。

太子伝は何時頃に始まったか、其原遠くして詳にすることが出来ないが、明治三年合寺の際、太子堂破壊と同時に中絶したのを、明治四十四年八月（略）これを再興…云々

とありました。

聞名寺様は「おわら風の盆」の発祥の地で、大きな伽藍のとても立派な浄土真宗本願寺派のお寺で、正面の本堂に向かって右手に太子堂が建っています。（以前は左手にあったそうです）。

太子堂は今日の法要のために開け放たれ、本堂にも太子堂にも五色の幕が張られていました。照りつける太陽の下、時おり吹いてくる風に感慨深く、しばし佇んでおりました。

八月七日の朝九時半、「太子伝会」に参拝。数人のお坊さんと講中の方々と一緒に「聖徳太子奉讃」をお唱えし、続いてご住職が太子の来歴を述べられました。二メートル程の大きな御像は、少し落剥はしていますが、極彩色でとても華やかです。江戸時代でしたら、さぞあでやかな御姿だった事でしょう。

優しい御顔で、「遠いところよく来たね」とほほえんでいるように見えました。私も「思いきって来てよかったです。有り難うございます。」という思いでいっぱいになり、思わず涙がこぼれました。

お参りの後、ご住職から奥でお茶でもと促され、お話を伺う事ができました。「昔は本堂いっぱいにお参りの人達がみえ、境内にもお店が出たり、サーカスの興行もあったりと、とても賑わっていました。太子伝会は一週間くらい続き、それはそれは町中の人が集まり大きなイベントのようでした」と…。ご一緒したお坊さんや御世話人様方も、いろいろとお話を聞かせて下さいました。

江戸時代から二百五十年もの間、連綿と「太子伝会」を守り続けて下さった方々。ひと口に二百五十年と申しましても、その間には種々と困難な事もあり、特に明治の廃仏毀釈の折には、先の『八尾史談』にあるように大打撃を受け、その当時土蔵であった太子堂も打ち壊しにあったのです。それでも太子信仰は途絶える事なく、現在まで続いているのです。

当山にお祀りされていた聖徳太子が、遠く越中八尾の地で、今なお信奉されている事に、深い感銘を覚え、「またいつでも来て下さいね。」の声に見送られ、聞名寺を後にしました。

【まだまだ謎の多い当山と聖徳太子の縁起について、手掛かりをお持ちの方は、ぜひお寄せ下さい。】

折りふしのはな

グズマニア（別名 アナナス）

お盆のお参りの方から
グズマニアの寄せ植えを
頂戴しました
南国を思わせる
赤い色で
気持ちも明るくなります　（遊）

行事案内

○九月八日　午後二時
薬師如来大護摩供

○九月十二日　午後二時
智泉院法要日（於・日本橋茅場町）

○**九月十五日（日）年一回**
ぜんそく平癒祈祷

○九月十八日　午後二時
観音経読誦法要（於・神木観音堂）

○九月二十八日　午後二時
不動明王大護摩供

どなたさまもご自由にご参詣下さい
＊毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時には ご一緒にどうぞ

修行時刻

1回目	10：00
2 〃	11：30
3 〃	14：00

月例「止観（坐禅）会」…
14日（土）10:00～11:00（500円）

おそかれ

○一昔前より世界が格段に近くなり、国際交流の必要が論じられています。反面政治の風潮は〃自国ファースト〃で、交流とは真逆です。欲と格差を生み出す社会の構図に歯止めをかける方策は、どこに求めたらよいのでしょうか。

○夏の甲子園は履正社（大阪）が初優勝。白球に一喜一憂した暑い夏が終わりました。

○聞名寺様では、お昼におソーメンを頂戴しました。私の実家の寺でも、夏の施餓鬼会の時にご接待があり、近所の人達が準備していた姿を懐かしく思いおこさせてくれました。（磯）

○九月はぜんそく平癒（9/15）とお彼岸です。早くもコオロギが鳴き始め、吹く風にも季節のうつろいを感じます。　合掌